



藤家 貴之議員の質問

## 地域農業経営基盤強化促進計画について

**Q** 実態と計画のずれをどう検証していくのか。

**A** 地域計画は策定後も継続的に見直すものとし、関係団体と連携しながら実効性の向上を図る。

## 農地中間管理事業について

**Q** 農林課と農業委員会の役割が分かりにくいとの指摘への対応は。

**A** 契約内容が決まっている場合は農林課、新たな借り手探し等は農業委員会が対応。今後も丁寧な窓口対応と周知に努める。

**Q** 農家に相手探しや調整の負担が生じている現状をどう考えるか。

**A** 制度設計と現状に乖離があることは認識しており、地域計画の見直しと農地中間管理事業の活用を並行して進めていく。

**Q** 今後、契約更新の集中などで事務量の増加が見込まれる中、市の体制は十分か。

**A** どのような体制を整備すべきか、



常任委員会

## 審査レポート

詳しく議案を審査します！

## 海外留学奨学金の年齢要件を満25歳から満30歳に拡充

10議第 三條市諸橋轍次博士奨学金条例の一部改正について

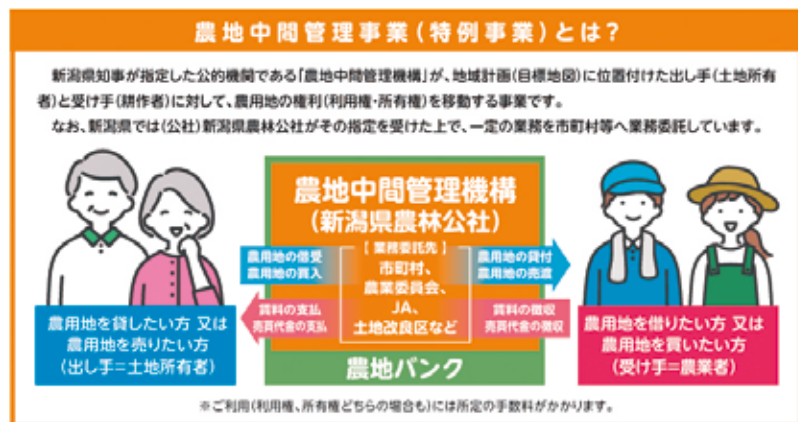
**Q** 海外留学奨学金の年齢要件を満25歳から満30歳に拡充することだが、制度設計当初、対象者をどのように想定していたのか。

**A** 当初、4年生大学を卒業し、学位の取得を目指して留学する20代前半から半ばにかけての人を想定していたが、具体の相談において、社会人の学び直しのための留学といったニーズが強いことから、改正を提案するもの。



付託された議案のうち、議第2号および議第10号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

人員体制も含め検討していく。



農地中間管理事業リーフレットより抜粋

## 八十里越開通に伴う下田地域の受け皿整備と広域連携について

**Q** 開通後、地域に確実に消費を生み出す仕組みをどう構築するのか。

**A** 周遊ルートや体験プログラムの整備、事業者向けセミナー、広域連携等を進め、地域に人と消費を呼び込む取り組みを行っている。

34議第 令和7年度 三條市一般会計補正予算

**Q** 学校給食調理場運営費について、米の価格は今後も安くなることはないと思われるが、どのような影響が考えられるか。

**A** 米の価格のほか、副食材料も各品目の値上げが続いている。献立や仕入れ先の見直しなどの工夫を凝らしているが、その努力も限界を超えてきているため、国で議論されている給食無償化の動向を注視しつつ、給食の単価については令和8年度予算編成の中で精査する。

**Q** 熊対策に係るスクールバスの臨時運行について、自宅からスクールバスの停留所までの安全対策は考えているのか。

**A** 保護者や地域の人の協力に加え、学校や教育委員会の職員によるパトロール、熊の忌避剤の活用など、可能な限りの安全確保に努めている。

**Q** 開通記念事業や開通日の公表について伺う。

**A** 国、県と協議しながら進める。開通時期の具体化について引き続き働き掛けていく。



小林 誠議員の質問

## 鳥獣被害の実態と対策について

**Q** 全国で熊の出没が相次ぎ、人身被害も過去最悪だ。三條市における今年の出没件数は139件で令和元年の85件を上回る過去最高だ。これまで、熊は箱など駆除、猿には防護網やモンキードックなどの対策をしてきた。効果はどうだったのか、また、今後の対策はどうか。

**A** 電気柵は、猿やイノシシの侵入対策に効果がある。イノシシに対するくくりわなは捕獲頭数が伸びており、現在も活用している。これらのほか、地域の追い払い活動、緩衝帯整備、柿等の誘因物の除去等を進めていく。

**Q** 鳥獣対策による被害軽減のため、継続的な職員配置が必要ではないか。

**A** 現時点では熊出沒などの対応が最優先。いったん落ち着いたところで検討したい。

## 市民球場スコアボードをLED化 多様な情報発信が可能に

28議第 三條市立図書館、三條市歴史民俗産業資料館及び三條市諸橋博士漢学の里の指定管理者の指定について

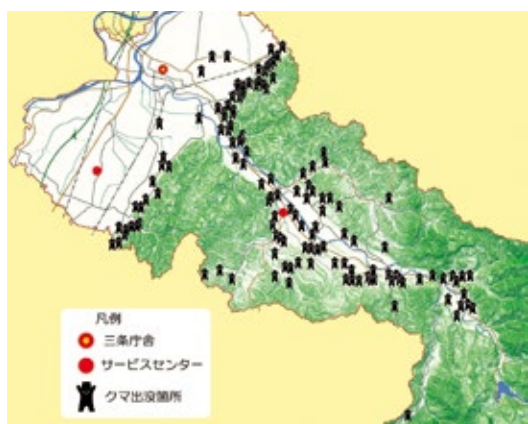
**Q** 図書館等複合施設内の飲食事業者は指定管理者が選定しているとのことだが、公共性や公平性はどのように担保しているのか。

**A** 行政にはないアイデアや市民目線での取り組みを生かすために指定管理者制度を導入している。飲食事業の出店者は指定管理者が選定しているが、利用対象者や値段設定などの内容については事前に相談があるため、一定の公共性や公平性は担保されていると捉えている。

33議第 三條市総合運動公園市民球場スコアボード改修工事請負契約の締結について

**Q** 多機能な設備を整備するのだから、イベント等でも広く活用すべきではないか。

**A** 野球が利用の中心になると思うが、新たな機能について周知し、近隣



2025三條市クマ出沒マップ

## 下田地域の過疎化について

**Q** 「年々世帯が減って先が真っ暗」、「あと十数年で何世帯残ることか。除雪もしつかりして道路も良くなったのになぜだ」との声が寄せられた。過疎化が進む中、鳥獣被害の対応の観点も含めた対策が急務ではないか。

**A** 過疎化の進行と野生鳥獣の出没や被害の拡大は密接に関係していると認識している。より効果的な鳥獣対策の研究と実践にも取り組み、豊かな自然に恵まれた魅力ある下田地域の維持、発展を支えていきたい。

市民福祉常任委員会  
馬場 博文委員長

34議第 令和7年度 三條市一般会計補正予算

**Q** 带状疱疹ワクチンの予防接種に係る費用を増額することについて、接種者数増加の要因をどう捉えているか。

**A** 近年、テレビ等でワクチン接種のPRや罹患者の声を聞くこともあり、想定よりも接種者数が多くなったと捉えている。また、今年度末で終了する接種費用への助成について周知を行う予定であるため、その駆け込み需要もあると考え、補正予算案を提出した。



付託された議案のうち、議第33号および議第34号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。